



(報道関係各位)

令和8年7月16日 発表

【本件に関するお問い合わせ】

☑ HP 公開

川越市立博物館 学芸担当 担当者：藤田

☎ 049-222-5399 (直通) Fax : 049-222-5396 メール : hakubutsukan★city.kawagoe.lg.jp

※@部分を「★」と表示しています

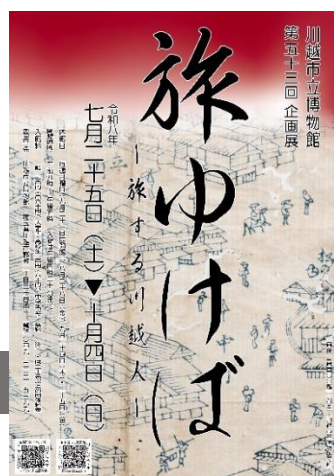
第 53回企画展「旅ゆけば ー旅する川越人ー」の報道機関向け内覧会を行います。

日時： 令和8年7月23日(木曜) 9時～16時30分

会場： 川越市立博物館 特別展示室

内容： 担当学芸員が展示について説明します。

*お手数ですが、希望される場合は前日までに博物館 学芸員担当あてに
お電話で御連絡ください。 TEL : 049-222-5399



展覧会会期等

会 期：令和8年7月25日(土曜)～10月4日(日曜)

休館日：毎週月曜(9/21は開館)、8/28(金)・9/24(木)・25(金)

入館料：一般 200円(160円)、大学生・高校生 100円(80円)

展覧会概要

「旅」は、しばしば人生に例えられるように、苦難や喜び、気付きや変化を伴い、私たちを未知の環境・世界へと誘います。それ故、旅に人生を投じる人もいれば、終わりのない日常へ活力を与えるために非日常の旅に出る人もいます。

それは川越に住んだ人々も例外ではありません。江戸時代になると、泰平の世を背景に、交通網も整備され、大名から庶民まで旅が身近な存在になり、様々な脈絡から人は旅をしました。

公用のための移動、あるいは信仰を深めるための旅のみならず、物見遊山、はたまた廻国修行まで。人々が往来し、物が行き来し、そして情報が拡散される——高速化する現在の情報社会の祖型を江戸時代に見て取ることができます。

本展覧会では、旅する川越人に焦点を合わせ、城下町川越と旅の文化史を考えます。

展示資料(一部)

①榎本弥左衛門覚書(埼玉県指定文化財)

②御社参供奉之留(埼玉県指定文化財)

③大山講神酒杵(川越市指定文化財)

④松平周防守家家臣道中道具 ほか